

## 甲状腺外科草子 129

### 心に響く歌詩：中学高校時代（前）

杉野 圭三

多感な中学・高校時代、深夜放送ラジオ（オールナイトニッポン、ヤングタウンなど）で流れていた歌は忘れがたいものがある。



ボブ・ディラン 岡林信康

時は学生運動、反戦運動の余波がまだ残り、ボブ・ディランの絶頂期であった。

風に吹かれて（ボブ・ディラン作詞）

How many roads must a man walk down  
Before you call him a man?

ボブ・ディランは他にも「時代は変わる」など多くのヒット曲があるがノーベル文学賞（2016）を受賞するとは驚きだった。

日本の反戦フォークソング代表は岡林信康であろう。

友よ（岡林信康、鈴木孝雄作詞）

友よ 夜明け前の闇の中で

友よ 戦いの炎を燃やせ

この歌は反戦集会定番の歌だったが、個人的には「山谷ブルース」の方が好みである。

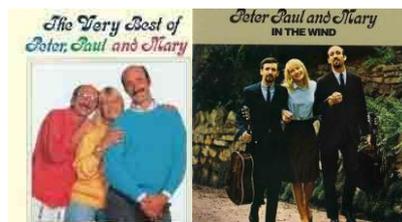
山谷ブルース（岡林信康作詞）

今日の仕事はつらかった

あとは焼酎をあおるだけ

つらい仕事後の晩酌には最高の歌である！

海外のフォークソングでは男女3人組のPPM（Peter, Paul & Mary）が大人気であった。「風に吹かれて」やピート・シーガーの「花はどこへ行った」のコピーは大ヒットを記録した。「悲惨な戦争」、「パフ」、「500マイル」、などの教科書にのるような PPM による歌はキャンプファイヤーなどで若者たちに歌われる定番ソングだった。



Peter, Paul & Mary

PPM のデビュー曲「Lemon Tree」は初恋をレモンにたとえ、忘れがたい味がある。

Lemon Tree（ウィル・ホルト作詞）

Lemon tree very pretty and the lemon flower is sweet,

花はどこへ行った、Where Have All The Flowers Gone（ピート・シーガー作詞）

Where have all the flowers gone, long time passing,

この曲は単純なメロディーと誰でもギターで弾けるコード進行で初心者には人気だった。

ちなみに、噂ではフォーク歌手「泉〇し〇る」はデビュー当時、ギターコードを3—4種類しか知らなかったという伝説がある。

学生運動は1969（昭和44）年の東大紛争をピークにおさまり始め、世の中の歌も穏やかなものへと変わりはじめてきた。この時代の映画「若者たち」は俳優座制作でブロードサイドフォーの歌と共に記憶に残る。

若者たち（藤田敏雄作詞）

君の行く道は はてしなく遠い



若者たち（1967）

ブロードサイドフォー

この映画は個性あふれる5人兄弟（田中邦衛、橋本功、山本圭、佐藤オリエ、松山省二）の物語で「若者はゆく」、「若者の旗」の続編がある。出演俳優たちの名演が懐かしい！

（著作権問題が厳しく、歌詞は一部のみの記載とした）

参考資料：Wikipedia

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2025年2月21日